

## 2023\_0906「秋の明るいオーロラ2（写真）」日々の理科 3317号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

「オーロラ」と聞くと、カーテン状の光の帯を思い浮かべる方が多いと思います。そのタイプのオーロラは「バンドオーロラ」と呼ばれ、典型的なオーロラの一つと言えます。しかしバンドオーロラが最も出現頻度が多いかというと、決してそうではありません。

オーロラ出現地帯（北欧では北緯 65 度～70 度付近）では、白夜の時期以外で晴れていれば、実はほぼ毎日オーロラが観測できます。しかし通常の状態（太陽風の活動が低い状態）では、ある一地点から見たオーロラは、ごく淡い「緑色の虹」のような存在です。これを「オーロラアーク」といいます。太陽風の活動が強まると、「バンドオーロラ」や「放射状オーロラ」それに「ブレイクアップ」と呼ばれる「オーロラ爆発」が見られます。この秋にも、すでに淡い「バンドオーロラ」が出現しています。

（2023年9月上旬／スウェーデン・ヨックモック郡・ポルユス駅）

